

オニテナガエビが I U C N(国際自然保護連合) のレッドリスト ( 2 0 1 3 年 7 月 2 日 ) に絶滅危惧種として評価されている  
 ホームページNACS-J(日本自然保護教会) 事務局日誌より  
 I U C N のレッドリストの最新版 ( 2 0 1 3 年 7 月 2 日 ) の淡水エビ部分を抜粋

**内容**

淡水のエビの全種評価が行われ、28%が絶滅危惧種であることが分かり、その危惧要因は過剰消費によるもの、  
 その例として、オニテナガエビ ( Giant River Prawn ( Macrobrachium rosenbergii ) ) があげられる。  
 汚染や生息地の改変、食品以外にも観賞用の取引による影響も大きいとみなされているとあげられている。

日本に生息するテナガエビ科で環境省第4次レッドデータリスト ( 2 0 1 2 年 ) に選定されているエビ

絶滅危惧Ⅱ類 絶滅の危険が増大している種	ウリガ-テナガエビ	宮古島
	ネツタイテナガエビ	沖縄以南
	オガサワラコテナガエビ	小笠原諸島 ( 父島 )
準絶滅危惧 存続基盤が脆弱な種	ツブテナガエビ	口永良部島以南に生息
	ヒラアシテナガエビ	沖縄以南に生息
	ショキタテナガエビ	西表島